

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	エイズ予防対策				事業番号	011-230	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 61 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺市民 808,404人（R6.4.1現在）				対象数	単位
						808,404	人
7	事業の目的	市民に対してHIV／エイズの正しい知識を普及啓発することで、HIV感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、HIV検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。					
8	事業内容	○検査・相談体制 ・通常検査 各保健センターにて月1回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施（保健センター輪番制） ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施 ○知識の普及啓発 ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置9市（大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市・堺市）で構成するエイズ予防週間実行委員会にて共同実施					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	エイズ予防週間実行委員会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	「いきなりエイズ」の報告件数	人	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	3		
	達成率	—	—				
	当該指標を選定した理由	HIV感染が判明した時点でエイズを発症している状態（いわゆる「いきなりエイズ」）は、感染機会があってから長く検査を受ける機会がなかったことを指すため、当該件数の減少が早期発見・早期治療できているかの指標として設定。					
	目標値の設定根拠・算出方法	全ての症例について早期発見・早期治療を目指すため、「いきなりエイズ」ゼロを目標とした。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	HIV抗体検査受検者数	人	目標値	900	1,000	1,100	
			実績値	916	1,055		
			達成率	102%	106%		
		当該指標を選定した理由	陽性者の早期発見・早期治療のためには、検査・相談の機会確保が重要であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	実績及び実績見込みを参考に目標値を設定。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	エイズ予防対策	事業番号	011-230
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,847	2,574	3,815	2,506	5,475
	国支出金	891	1,256	1,575	1,253	2,660
	財 府支出金	0	0	0	0	0
	源 市債	0	0	0	0	0
	内 その他（ ）	0	0	0	0	0
	記 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	956	1,318	2,240	1,253	2,815
14	人件費（b）	16,400	16,200	16,200	16,200	16,800
15	年間経費（c）=(a)+(b)	18,247	18,774	20,015	18,706	22,275

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	手数料	R7	予算	0	0	大阪府エイズ予防週間実施負担金	R7	予算	109	55
		R6	決算	2,490	1,283		R6	決算	110	55
	消耗品費	R7	予算	1,824	912	会場等借上料	R7	予算	73	37
		R6	決算	1,981	991		R6	決算	75	38
	医師報酬	R7	予算	168	84	エイズ予防対策の普及啓発に係る費用負担金	R7	予算	54	27
		R6	決算	359	218		R6	決算	60	30
	会場等設営委託料	R7	予算	143	72	会計年度任用職員報酬	R7	予算	43	22
		R6	決算	150	75		R6	決算	37	19
	謝礼金	R7	予算	34	17	その他（普通旅費等）	R7	予算	58	27
		R6	決算	26	13		R6	決算	187	93
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	99	99
	② 上記①にかかる年間経費	千円	2,018	1,896
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	20,384	19,152
算出についての説明等		②は検査実施にかかる消耗品費や会場借り上げ料等の合計		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度は、令和5年度と同数の検査実施回数を確保できたうえで、HIV抗体検査受検者数が増加したため、1回あたりの受検者も増加した。検査1回当たりの経費が前年度より減少しているが、抗体検査で陽性となったものがなく、確定検査等の実施がなかったこと等の影響がある。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	HIV含めた性感染症への関心が高まる社会情勢の中で、受検者数の増加を達成し、相談機会の確保や陽性者の早期発見に向けた取組みとして一定の役割を果たすことができています。ただし、HIV感染が判明した時点でエイズを発症している状態（いわゆる「いきなりエイズ」）の報告件数が令和6年度において3件あるため、目標設定にあるように「いきなりエイズ」を無くすためにも、早期発見につながるよう更なる受検者数の増加及び性感染症予防の普及啓発方法を検討する。
----	---